

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2016.1.5 No. 250 連絡先 FAX 042-555-1911



横田基地・防衛省は 米軍指揮下の 戦争法実行の日米「調整所」



日米両政府は11月3日、今年4月に再改定されたガイドライン（日米軍事協力の指針）に盛り込まれた「同盟調整メカニズム」（ACM）と「共同計画策定メカニズム」（BPM）を設置し、運用に入ることによって合意しました。ACMは、戦争法を実行する日米の統合司令部といえるものです。



自衛隊を米軍の指揮下に組み込む日米常設のACM内で中核的な役割を果たす「軍軍間の調整所」が、設置されます。それは、米軍横田基地（福生市など）と防衛省（新宿区）を中心に運用されることが分かりました。

横田基地内には2012年3月に航空自衛隊航空総隊司令部が移転され、米軍・自衛隊の「共同統合運用調整所」（BJOCC）が設置されました。防衛省の地下には自衛隊の最高司令部としてあらゆる情報が集約される中央指揮所が置かれています。横田基地と防衛省は米軍指揮下の戦争法実行の調整所になります。

2016年度予算案 防衛費は初の5兆円超え 思いやり予算も増額

政府は、2016年度予算案の防衛費を5兆500億円超とする方針を固めました。防衛費の増額は第2次安倍政権になって4年連続です。そして、5兆円を突破するのは史上初です。

対中国の装備強化や、沖縄県の米軍普天間飛行場の名護市辺野古沖への移設工事を本格化させるなどで膨らみました。過去最高だった2015年度（4兆9801億円）を700億円上回ります。

また、日米両政府は12月16日、在日米軍駐留経費（思いやり予算）について、2016～2020年度の5年間の総額は9465億円、15年度までの5年間で133億円上回る額で合意しました。

実質増となるのは、日本側が負担する上限労働者数が現行の22,625人から23,178人に、553人分増えます。戦闘機などの整備に当たる労働者等は増やし福利厚生に従業員は減らします。

辺野古に新基地はつくらせない！ 翁長知事の日本国民への訴え



（12月2日、辺野古代執行訴訟の口頭弁論・冒頭意見陳述より）

「この裁判で問われているのは、単に公有水面埋立法に基づく承認取り消しの是非だけではありません。戦後70年を経たにもかかわらず、国土面積のわずか0.6%しかない沖縄県に、73.8%もの米軍専用施設を集中させ続け、今また22世紀まで利用可能な基地建設が強行されようとしています。日本には、本当に地方自治や民主主義は存在するのでしょうか。沖縄県にのみ負担を強いる今の日米安保体制は正常と言えるでしょうか。

国民の皆さますべてに問いかけたいと思います。」（写真：12月2日撮影、沖縄統一連提供）

MVオスプレイ 米で着艦失敗は クラスA事故

(No. 250 の裏面)

米カリフォルニア州サンディエゴ沖で 12 月 9 日 (現地時間) に起きた米海兵隊 MV22 オスプレイの着艦失敗事故の機体の被害状況について、米海軍安全センターが最も損傷の激しいクラスA (200 万ドル=約 2.4 億円=以上) に分類していたことが 13 日に分かったと、沖縄タイムス (12 月 15 日) は報じています。米海軍安全センターが公開した情報によると、事故機は沖合で実施していた飛行訓練から戻り、停泊中の輸送揚陸艦ニューオリンズに着艦する際に着艦地点に届かず、揚陸艦のふちにランディング・ギア (車輪) が引っ掛かる形で止まりました。

乗組員たちは着艦した際にかかなりの激しい衝撃を受け、海に落ちるといったなどと話していたそうです。事故発生時、オスプレイには乗組員 4 人を含む計 26 人が乗っていました。

伊江島の着陸帯、拡張予定地から土器 工事着手に影響も

沖縄の地元紙 (12 月 19 日) によると、米軍伊江島補助飛行場内の着陸帯改修工事に伴う予定地での試掘調査で、縄文時代のものとみられる土器片数点と炉跡 1 件が見つかったことが 18 日、分かったそうです。今回の調査は米海兵隊環境保全部が実施。ことし 10 月 5 ~ 23 日まで工事予定地など計 66 カ所を試掘しました。調査した米軍側が新規発見の遺跡として、県教委に申請し、文化財として認定される見通し。調査規模や出土内容によっては、工事着手時期などのスケジュールに影響を与える可能性があります。同工事の入札は当初 10 月 13 日の予定でしたが、その後 4 回延期されました。現在は来年 1 月 14 日の予定となっています。

工事はことし 11 月に入札が実施された場合は年内に契約され、2017 年 7 月までには完了するとみられていました。改修されるのは強襲揚陸艦の甲板を模した着陸帯「LHD デッキ」。海兵隊 F35 に加え、空軍横田基地へ配備予定の CV22 オスプレイも収容できる駐機場の整備です。

金武町キャンプ・ハンセン 実弾射撃訓練で山火事 集落に灰、煙

沖縄県金武町の米軍キャンプ・ハンセン内で 18 日午後 1 時 20 分、米軍の実弾射撃訓練による山火事が発生。米軍が消火に当たりましたが鎮火せず、夜になり消火活動を中断。19 日も消火活動が続いたそうです。米軍施設内の山火事は今年 14 件目。住民からは「山火事は何度も経験しているが、今回はひどい。外を歩いているだけで洋服も灰で汚れた。車の屋根や玄関にも灰が積もっている。煙も充満しており、家の窓をすぐ閉めた。集落に火の粉が降ってこないか心配だ」との声が聞かれました。また、発見の一報から消火開始まで 1 時間以上かかったことについて「対応が遅い、風もあるし (消火は) 間に合わない。」と指摘する声もあったそうです。

35年・420回続けてきた 厚木基地周辺住民の会平和行動



「爆音をなくし 米空母の母港に反対する 厚木基地周辺住民の会」は、12 月 20 日、大和市で第 420 回第三日曜平和行動を行いました。「会」のニュースによると、1981 年 1 月に開始されたこの行動 (デモ行進、いまはピースパレード?) は、この日で 35 年経過したそうです。すごいですね。

この日は「ママもパパもオジイもオバアも戦争法は要らない」、「子供を泣かす爆音も要らない」と訴えました。

[◎ 2016年1月17日\(日\)は、第82回の横田座り込みです。是非ご参加を!](#)